



入学式



学校行事紹介



1年担任紹介



家庭クラブ清掃活動



情報モラル研修



球技大会

## 加茂高春秋

### 「雑感」

未曾有の国難ともいえるコロナ禍において、私たちを取り巻く環境や価値観は一変しました。とりわけ学校生活での変化は大きく、人との接触を避けるため、様々な行事が中止や変更となり、多くの経験を考える機会が失われました。進路を考えていくうえで、多くの経験を積み、多くの人と接することとは、多様な価値観が養われるとともに、社会人となった時に必要とされるコミュニケーション能力も養われます。勉学に励み、学力をつけることも大切ですが、目に見えない「生きる力」を高めることも大切だと思います。

コロナ禍での過ごし方は、規制も多いことから悲観的になりがちですが、当たり前のように感謝し、相手を思いやること、互いを支え合うこと、分かち合うことを忘れないで成長してほしいと思います。まずは、周りの大人である私たちがその気持ちを忘れないようにしたいと思います。

まだまだ先の見えない状況ではありますが、すがすがしい夜はないと信じ、保護者の皆様と先生方とともに、子ども達が多くの課題を乗り越えながら、笑顔で前向きに学び、有意義な高校生活を送れるよう、皆様のお力添えをよろしく願っています。

(副会長 長尾陽一郎)

## PTA役員紹介

会長 尾関 里佳  
 副会長 鈴木 知美  
 副会長 長尾陽一郎  
 副会長 荻島 豊  
 副会長 山口 博子  
 会計 天野ひとみ  
 会計 奥村 有美

1年学年委員長 須田 雅代  
 研修部長 松田美江子  
 2年学年委員長 渡邊奈美子  
 広報部長 片桐 由香  
 3年学年委員長 高井 実枝  
 進路学習部長 横田 志保  
 役員選考委員長 富田 勝也



## 笑顔で前を向いて

PTA会長 尾関 里佳

今年度のスタートも、昨年度に引き続き新型コロナウイルスの影響で先が見えない状況でのスタートとなりました。

昨年度より未知のウイルスへの対策方法、一人一人の徹底した心掛けにより、今年度は少しずつですが動き出しています。まだまだ不安もあり油断もできませんが、前を向いて一生懸命に取り組めばきっと当たり前の日常が戻ると思っています。

そんな中、学校では先生方が、今の子ども達にできることを一生懸命に考えてくださっています。そして各ご家庭でも、通常と違う状況に不安になっている子ども達を支えてくださりありがとうございます。私達PTAとしても今の子ども達に、安心・安全を最優先した、より充実し楽しい学校生活となるよう全力で

サポートしていきたいと考えております。

先の見えない不安な状況…こんな時だからこそ困った時には周りの方に頼り、支え合っていけたらと思っておりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

最後に私が心掛けていることを紹介させていただきます。常に自分自身が褒めることと褒めることです。褒めることは自己肯定感にもつながるといわれています。保護者の皆様方、先生方、地域の皆様方、そして加茂高生の皆さん、暗い方向に目を向けるのではなく、周りの「すごい」や「素敵」なことに目を向けてみてください。明るい明日が一日でも早く戻るように、笑顔で前を向いて頑張っていきたいと思います。

1年間よろしく願います。



## コロナ禍と学校教育

校長 井藤 勝夫

この4月に加茂高校の校長に着任し、早いもので3ヶ月余りが経過しました。日頃からPTA役員の方々はじめ保護者の皆様方には、本校の教育活動に、ご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

昨年度は全世界が新型コロナウイルスの感染症に翻弄された一年でした。2ヶ月の休校を経て学校が再開された後も、未知の感染症への予防対策から、学校行事も相次いで中止となり、生徒が共に学ぶ機会が失われたことは本当に残念でした。

しかし、一年間の経験と知見によって、どのような行動が感染リスクを高め、どのような対策が感染リスクを軽減するのが明らかになってきました。そこで、今年度は全てを中止とするのではなく、PTA会員の皆様との連携を図りながら、どのような形を取れば安全性を担保しつつ各教育活動が実施できるのかという視点を持って、学校運営を行っていきたく考えています。

「不易を知らざれば基立ちがたく、流行を知らざれば風新たならず。」これは芭蕉の俳諧の理念「不易流行」を門人の去来が『去来抄』の中で説明した文章です。普遍的なものを確りと見つめることと、世の中の流れを理解して新しいことも取り入れな

と解されています。

このコロナ禍の学校教育においても、今まで経験したことのない速さと大きさで変化する社会の中で、時代を超えて変わらない価値があるもの（不易）を大切にしつつ、時代の変化とともに変えていく必要があるもの（流行）に的確かつ迅速に対応していくことが求められています。

加茂高校にとつての不易とは、文武両道の校風のもと「明朗進取」「誠実努力」「信愛奉仕」の校訓に示されている精神や、未来を切り開く資質・能力である「生きる力」を育むことではないかと考えます。一方、新学習指導要領で取り入れられる新しい科目や主体的・対話的で深い学びという理念、コロナ禍の中で急速に普及してきたICT機器の活用、オンラインで行われる授業や行事など、学ぶ内容やそのための教材、学習法、指導法については、教育における流行と言えます。

新型コロナウイルス感染症は変異株の脅威も加わり未だ収束を見通せない状況ですが、「不易流行」を見極めながら、「高い学力・健康でたくましい心身・豊かな人間性を備え、自立した生徒を育成する」という本校の教育目標の実現に全力で努めていきたいと思います。

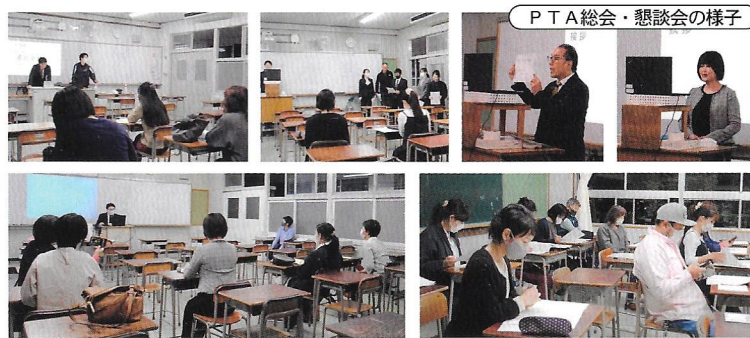
## PTA総会開催

4月28日（水）19時より、本校においてPTA総会がオンラインで代替開催されました。PTA会長・学校長の挨拶に始まり、令和2年度の事業報告・決算報告、令和3年度の事業計画案・予算案の概要を説明しました。

PTA総会終了後、各学年が3ヶ所の会場に分かれて、懇談会を実施し、オンライン代替開催を終了しました。

その後、議案の承認に関するアンケートを実施しました。回答者数518名（会員数747名）の回答があり、議案を「承認します」518名、「承認しません」0名で議案は承認されました。

PTA総会・懇談会の様子



# 担任学年主任等紹介

前列：正担任 後列：副担任 ◎：学年主任



山田 幸子 数学  
青井ゆり子 家庭  
堀部 仁貴 英語  
降旗 一成 美術  
赤石 覚 国語  
伊佐治正浩 英語

横山 友香 6組 数学  
吉村 将成 5組 地公  
河村美都紀 4組 国語  
◎津田 健介 数学  
井上 悟郎 3組 理科  
細井 祐花 2組 英語  
中村 篤弘 1組 保体

## 1年生学年団

スローガン

挑戦

入学して早3ヶ月がたちました。4月当初は緊張した面持ちだった生徒達も学校生活に慣れ始め、学習や学校の様々な活動に励んでいます。5月には本年度はインターハイ予選が無事に開催され、大きな刺激を受けたようです。7月は延期された校外研修が実施され、自ら決めたテーマに従って、高山の街を散策し見ることができました。また9月の文化祭に向けた準備も始まっています。

こうしてみると本年度もコロナウイルスによる学校生活への影響はまだあります。しかし、生徒達はそれに順応して生活を送っています。制限がある中でこういったアクションを取っていくのか。それを考え行動に移すことが成長につながるかと考えております。1学年学年団は丸となつてその成長をサポートしていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。



伊藤 勢子 英語  
古田 丈博 保体  
渡辺 昌文 数学  
三田村広隆 国語  
荒井 悠稀 数学  
武藤のか 国語  
杉山 典孝 保体

鳥居 淳 7組 地公  
柘植 未来 6組 保体  
後藤あやみ 5組 英語  
◎水口 智人 理科  
安藤 理絵 4組 国語  
岡山 混 3組 数学  
上野 智子 2組 理科  
佐藤 優介 1組 地公

## 2年生学年団

スローガン

夢の実現

学校の中核となる1年が、スタートしました。後輩の手下になる先輩になり、3年生の姿を見て夢の実現に向けた行動が求められる学年です。特に、進路実現については、この2学年こそ重要な学年です。大学ではどんなことが研究したいか？全国にはどんな大学があるのか？今年だからできることが、沢山あります。学校でも、地域と連携した課題研究や進路に関する取り組みを積極的に行う予定です。ぜひ、保護者の皆様も夢の実現に向けて、お子様とじっくり進路について、大学について話し合ってみてください。

今年1年よろしく願います。



天池 光広 理科  
平野 弘 英語  
座馬美都志 保体  
山本 僚郎 数学  
伊藤 敏子 数学  
羽中田亜理沙 英語

木村 京子 7組 英語  
野原 利江 6組 保体  
石井 清治 5組 地公  
中島 将仁 4組 理科  
◎山中 徹也 国語  
柴田 佳祐 3組 国語  
門 有宏 2組 数学  
木澤 慶和 1組 理科

## 3年生学年団

スローガン

拘る Be Proud

高校生活最後の年がスタートしました。一人一人の姿を見ていると、コロナ禍の中で経験した様々なことが彼らの強さとなったことが見受けられます。後輩達にとっては「理想の高校生の姿」として、そして、彼ら自身にとっては新たな一歩を踏み出すための「エネルギー」として、最大限のパワーを発揮できるように残りの時間も努力を続けていくことを期待しています。お子様が加茂高生としての誇りを胸に巣立つ日に向け、ご家庭の皆様と一緒に、担任一同、全力でサポートしてまいります。今年もよろしく願います。



小島 礼子 理科助手  
小島 治郎 業務専門職  
大坪美千代 係長  
村上明日香 主事  
野村 美和 理科助手  
安江 清美 養護教諭  
北村友紀子 司書  
間宮 明美 業務専門職  
小島 知己 理科助手  
室賀 文哉 主事  
金子 寿 主査  
古田 寿朗 進路指導部長・地公  
笠原 常豊 教頭・数学  
井藤 勝夫 校長  
山田 哲志 教頭・保体  
今井 勤 事務部長  
吉川 敏幸 教務部長・理科  
酒井 宏昌 生徒指導部長・理科  
秋川 愛 教員業務アシスタント

## 部活動顧問一覧

| 部名       | 顧問名          | 部名     | 顧問名            |
|----------|--------------|--------|----------------|
| 陸上競技     | 杉山 吉川 (酒井)   | 吹奏楽    | 堀部 細井 青井 (片岡)  |
| 柔道       | 柘植 水口        | 美術     | 降旗 山中          |
| 剣道       | 井上 野村        | 文芸     | 伊藤敏 (平野)       |
| 弓道       | 佐藤 吉村 古田 中村  | 演劇     | 鳥居 三田村 (山内・横山) |
| 野球       | 天池 安江        | 書道     | 安藤 (鈴木)        |
| 卓球       | 野原 (酒井)      | 自然科学   | 木澤 (水口)        |
| バスケットボール | 津田 武藤        | パソコン   | 石井             |
| バレーボール   | 赤石 伊藤 小島 上野  | 新聞     | 渡辺             |
| サッカー     | 座馬 荒井        | 囲碁・将棋  | 伊佐治            |
| ラグビー     | 矢崎 (平野)      | コーラス   | 後藤 小島礼 (武藤)    |
| テニス      | 柴田 岡山        | 茶華道同好会 | 木村 (櫻井)        |
| ボート      | 古田 山本 横山 羽中田 |        |                |
| ソフトボール   | 赤塚 中島 山田幸    |        |                |

( )：講師

## 事務・担任以外

# 球技大会

6月9日(水)

5月18日に実施予定の球技大会は6月9日に延期になっていましたが、青空の下、無事に実施することができました。  
競技方法は3密を避けるため、学年別・2時間区切りの大会になりました。学年を越える交流はありませんでしたが、各チームが団結して競技に向かう様子や負けたチームは他のチームを応援する様子も見られるなど、元氣いっぱいに取り組む姿が見られた球技大会になりました。



3年生



1年生



## 球技大会成績

【3年生】

| 勝      | 準優勝   | 優勝   | 準優勝  |
|--------|-------|------|------|
| 男子バレー  | 2年5組B | 3年2組 | 3年1組 |
| 女子バレー  | 2年3組  | 3年7組 | 3年4組 |
| 男子バスケ  | 2年4組  | 3年4組 | 3年5組 |
| 女子バスケ  | 2年3組  | 3年4組 | 3年5組 |
| サッカー   | 2年1組  | 3年1組 | 3年6組 |
| ドッジボール | 2年1組  | 3年3組 | 3年6組 |



## 加茂高トピックス

### ボート部

☆全国高校選抜大会(3/25~28)  
女子舵手付きクオドルブル 4位入賞  
男子舵手付きクオドルブル 予選敗退  
☆アジアジュニア日本代表選考会

女子シングルスカル (4/23~27)

横田 紗弥 4位  
兼松 万倫 6位

4位入賞の横田紗弥さんが日本代表としてアジアジュニア大会に出場

### ☆県高校総体 (5/30)

女子舵手付きクオドルブルA 優勝

(横田・竹地・吉田・新保・坂元)

女子シングルスカルA 兼松 優勝  
舵手付きクオドルブルAとシングルスカルのクルーが全国高校総体の出場権を獲得



### ソフトボール部

県高校総体(5/29)

準決勝 加茂×中京  
決勝 加茂×美濃加茂

優勝 4-2 27-0

全国高校総体の出場権を獲得





2年生

令和3年度 学年



【1年生】

|        | 優 勝    | 準 優 勝  |
|--------|--------|--------|
| 男子バレー  | 1年4組 B | 1年1組 A |
| 女子バレー  | 1年4組   | 1年1組   |
| 男子バスケ  | 1年3組   | 1年1組   |
| 女子バスケ  | 1年5組   | 1年4組   |
| ドッジボール | 1年1組   | 1年5組   |

【2年生】

|         | 優 勝 |
|---------|-----|
| 男子バレー   | 2   |
| 女子バレー   | 2   |
| 男子バスケ   | 2   |
| 女子バスケ   | 2   |
| サ ッ カ ー | 2   |
| ドッジボール  | 2   |

理数科の活躍

理数科3年生が昨年度に行った課題研究の論文をそれぞれの分野で発表し、表彰されました。

☆武蔵野大学

第7回数理工学コンテスト

選考委員長賞

「ボールの空気圧と反発係数の関係」

可児佳紀・朝日勇介

浅野文哉・高橋幸平

☆高校環境化学会

環境化学賞

「酸性雨による影響」

田口大翔・三品友都

村山航太・土井柊弥

☆日本地理学会春季学術大会

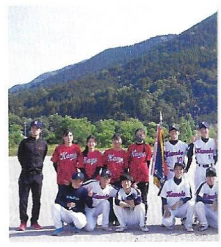
高校生ポスターセッション発表

高校生ポスターセッション会長賞

「岐阜県内の自然災害伝承碑の

分布と特徴」

傍島葵美・中村穂菜・野呂七海



◎ こちらは定時制の「コーナー」です。

## 濃密な時間と

## コロナ社会を生き抜く希望

副校長 鵜飼 陽一郎

令和3年度になって、この国には新型コロナウイルス「第4波」が到来し、この原稿執筆現在（6月1日）、東京都や大阪府では緊急事態宣言が、岐阜県ではまん延防止等重点措置が延長されています。こうした状況下、世の中の感染

コミュニティの人たちにとって、自分が想像している以上に大切なものであり、それを制限しようというのは、仕方のないこととはいえ、ものすごく酷なことを言っているのではないか、と思ひ至りました。

その人たちにとっての「ファミリー」は、血のつながりに縛られない大きな包容力のあるものではないか。それは、18歳未満の児童がいる世帯の80%以上を占めている「核家族」とは、全く異なるものでしょう。私はすっかり忘れていたのだけれど、まだ幼かった時、

母の病気を心配してくれて、晩のおかずを持って来てくれた隣のおばさんや、気つ風（きつぷ）がよくて、おせっかいで人情味のある、「目の前の困っている人を」見て見ぬふりなんてできない。」という、江戸落語に出てくる賑やかな長屋の住人達が作り上げる世界の形に通ずるものではないか、と思うのです。

本校の特色として、いろいろな国籍の生徒が学んでいるということと、多くの生徒が、昼間、大人たちに混ざって一生懸命働いているということがあげられます。この国が目指そうとしている「多文化共生社会」のモデルに一番近いところにあるのが本校であり、本校は一日一日、濃密な時間を共有することができる場所です。

どんな世の中になろうとも、いろいろな人たちが、自分一人では難しいことを誰かのできることで補い合って、力を結集しようとするところに希望があります。だから、生徒達にはこの濃密な時間の中で、仲間の姿を見ながら自分のできることをしっかりと見つけてもらいたい。現在のコロナ社会を生き抜く希望は、生徒達の姿にあります。

## 職員紹介



渡辺純也（英語）  
田口昂佑（国語）  
尾関清光（保健）  
若宮洋介（保健）  
箕浦 涼（理科）

武藤 秀彦（数学）  
塚田 隆仁（数学）  
矢野 正人（社会）  
井藤 勝夫（校長）  
鵜飼陽一郎（副校長）  
中家 満貴（英語）  
高瀬 聡子（国語）  
坪内 優子（養教）



定時制課程のホームページは  
こちらからご覧いただけます。

## 部活動

### ● サッカー部

第66回岐阜県高等学校定時制通信制  
総合体育大会（5月30日）

二チームによりリーグ戦

○3-1 華陽フロンティア

優勝（全国大会出場）



### ● バドミントン部

第66回岐阜県高等学校定時制通信制  
総合体育大会（6月5日）

女子ダブルス

優勝 アマド・バディレス

準優勝 アセグランド・ヌエズ

女子団体

準優勝

アマド

バディレス

ビセンテ

バラスパス



## 進路ガイダンス

（6月18日）

各分野の学校・企業の方々にガイダンスをしていただきました。生徒の進路意識が高まったひとときでした。





横田紗弥 中国遠征(10月)の予定

女子舵手付きクォドルプル  
横田・吉田・吉田・新保・坂元

ボート部 女子舵手付きクォドルプル 横田・竹地・吉田・新保・坂元  
女子シングルスカル 兼松  
ソフトボール部

本校×関有知

## 県高校総体

西里 梅田

可以而作爲之

# 進路実現を目指して

進路指導部長 古田 寿朗

昨年度3年生にとって、高校生活最後の1年間は多難な年でした。2ヶ月に及ぶ休校、学校行事や部活動の制限など、まさにコロナ禍での学校生活でした。しかし、生徒達は休校期間でも、オンライン授業に取り組み、自宅で学力の維持・向上に努めました。学校が再開してから、授業に真摯に取り組み、放課後の補習授業や土曜講座などに積極的に参加しました。その結果、学力を伸ばし、総合型選抜や学校推薦型選抜、そして、大学共通テストなど志望校合格に向け果敢に挑戦しました。早朝や放課後に職員室前に設置されている机で自主学習をしたり、担当教員のところに粘り強く足を運び、入試問題や小論文の指導を受けたりしている姿が印象的でした。



廊下学習



放課後補習の様子

そうした取り組みの結果として特筆すべきことは、なんと言っても、岐阜大学医学部医学科（1名）、北海道大学（1名）、岐阜薬科大学（2名）など難関大に合格したことです。本校は、高い目標を持ち努力することによって、進路選択の幅を広げ、希望の進路を実現できる生徒の育成を目指しております。難関大を目指して合格した彼らの取り組みはまさにその模範です。たとえ、難関大でなくても、志望校合格を目指し努力したことは人生に誇れる経験であると考えます。

定に積極的に挑戦したりするなど進路実現に向けて例年以上に努力をしています。また、1・2年生は、総合的な探究の時間を使って、大学の学部学科について調べたり、社会問題に対して自分の考えを発表したりするなど、進路につながる学びを展開しています。

受験は生徒達にとって大変な苦勞を伴う経験だと思えます。しかし、本校の生徒は、地道に努力し自分の希望を叶えようと努力する自己実現の欲求を強く持っています。進路希望実現のために努力することは、人間性を高め、現代社会を生き抜く力を養うと信じ、生徒とよくコミュニケーションを図りながら進路実現の支援に今後も取り組んでいきたいと思えます。



授業の様子



2年生進路講話

## 2021年度入試合格者数一覧

|          | 合格者数    |
|----------|---------|
| 国公立大     | 39 (0)  |
| 私立大      | 370 (2) |
| 公立短大     | 2 (0)   |
| 私立短大     | 13 (0)  |
| 医療系専門学校  | 12 (0)  |
| その他の専門学校 | 15 (0)  |
| 文科省管轄外学校 | 1 (0)   |
| 専門職大学    | 4 (0)   |

( ) 内は内数で過年度生数

## 編集後記

華やかで充実した高校生活を夢見た入学式の日、加茂高校の門をくぐったはずなのに……。コロナ禍の中、2020年度は行事中止が続き、残念な気持ちを娘の背中に感じ、自分も感染しないようにヒヤヒヤしながら過ごしました。それでも加茂高だよりは年2回の発行ができました。2021年度もできる限りの行事の中での生徒の様子を伝えていきたいと思えます。

(広報部長 片桐 由香)